



# 積水化学グループ中間報告書

---

# 2020

(2019年4月1日～2019年9月30日)

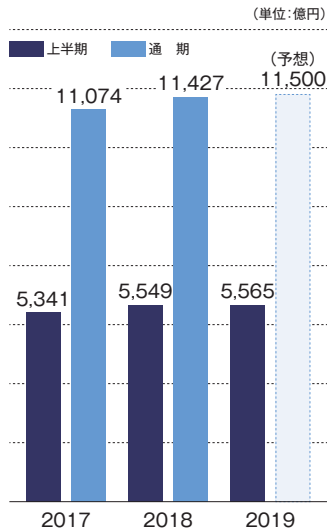
証券コード:4204

# 積水化学グループ上半期決算のご報告

## 売上高

5,565億円  
+0.3%

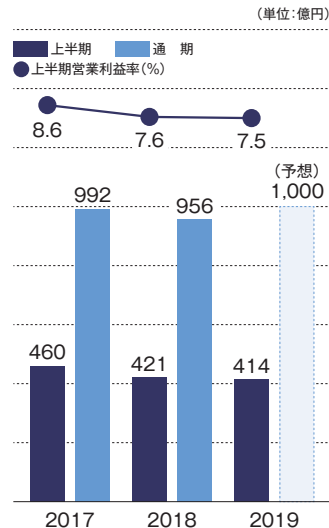
海外における市況が低迷した影響を受けましたが、国内の戸建住宅の売上の増加や建築用管材の売上が拡大したことなどにより、売上高は0.3%増加しました。



## 営業利益

414億円  
-1.6%

為替の影響や戦略投資による固定費の増加の影響を受けたことなどにより、営業利益は1.6%減少しました。

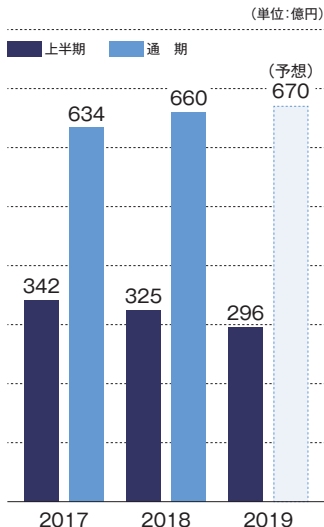


# 積水化学グループ上半期決算のご報告

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

296億円  
-9.0%

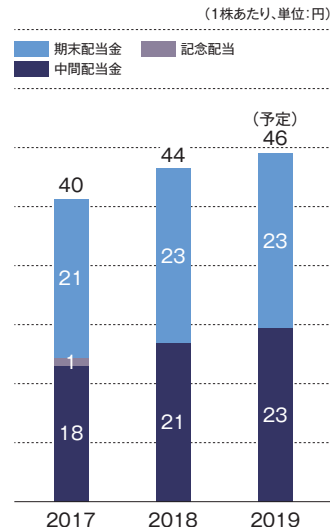
為替差損の影響などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は9.0%減少しましたが、期初の上半期計画を上回りました。



中間配当金

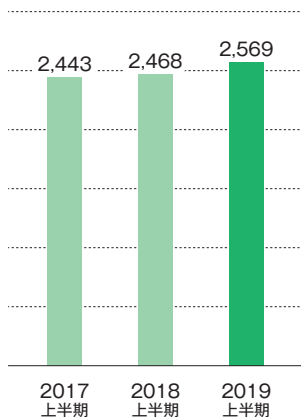
23円

2019年10月30日開催の取締役会において、前年度の中間配当金より2円増額となる1株につき23円とし、支払開始日を12月2日とさせていただきますことを決議しました。



(単位:億円)

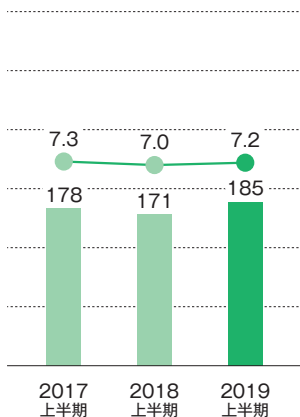
## 売上高の推移



(単位:億円)

## 営業利益の推移

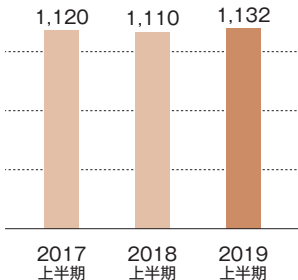
● 営業利益率(%)



- 売上棟数の増加やリフォーム事業も成長軌道に復帰したことなどにより、増収増益となりました。
- 新築住宅事業は、消費増税の反動により建替え需要が減少したものの、一次取得者層向けの木質系住宅や分譲住宅、建売住宅などが大幅に伸長したことにより、売上は前年同期比並みを確保しました。さらに、営業人員増強や体感型ショールームの全国展開などの体制強化により集客の増大を図りました。
- リフォーム事業は、蓄電池によるエネルギー自給自足提案を中心とした戦略商材の拡販により、売上は前年同期を上回りました。さらに、顧客接点の強化に努めるとともに、効率化による収益体質強化を推進しました。

(単位:億円)

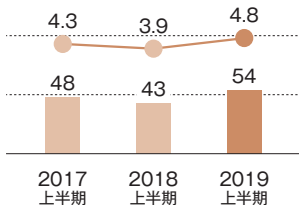
## 売上高の推移



(単位:億円)

## 営業利益の推移

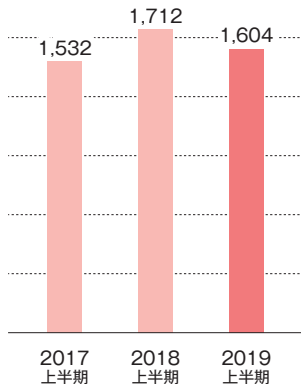
● 営業利益率 (%)



- 国内の重点拡大製品の販売が順調に拡大し、生産設備の増強など戦略投資による国内の固定費の増加を数量・構成の拡大によってカバーしたことにより、増収増益となり、上半期としての最高益を更新しました。
- 配管・インフラ分野は、国内における非住宅・公共施設向けの重点拡大製品の販売が拡大し、売上は前年同期を上回りました。
- 建築・住環境分野は、集合住宅の着工の減少があったものの、新製品の販売拡大や介護用ユニットバスの需要回復などにより、売上は前年同期並みとなりました。
- 機能材料分野は、航空機、医療向けの成形用プラスチックシートの販売が拡大するとともに、欧州・米国を中心に合成木材の鉄道枕木向けの採用拡大が進み、売上は前年同期を上回りました。

(単位:億円)

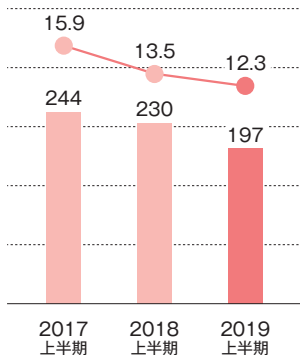
## 売上高の推移



(単位:億円)

## 営業利益の推移

● 営業利益率 (%)

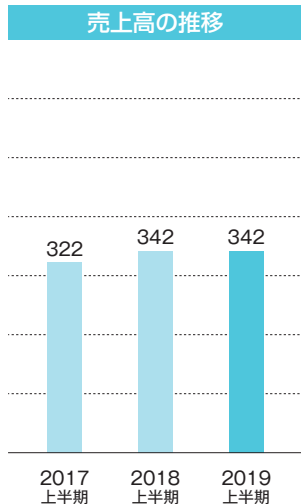


※2017・2018年度上半期の実績は、「メディカル事業」を除いた数値としています。

- 海外市況の低迷の長期化や為替の影響を受けたことなどにより、減収減益となりました。
- エレクトロニクス分野は、非液晶分野への拡販に注力したものの、モバイル端末市況が引き続き低迷したことにより、売上は前年同期を下回りました。
- 車輜・輸送分野は、欧州の自動車市況の回復遅れや中国市況の減速などグローバル市況が悪化したことにより、売上は前年同期を下回りました。このような中、モビリティ材料領域の業容拡大と基礎技術の強化を図るため、「AIM Aerospaceグループ」の全株式取得に向けた株式譲渡契約を本年6月に締結しました。
- 住インフラ材分野は、耐火材料、不燃材料の販売が順調に進捗し、売上は前年同期を上回りました。

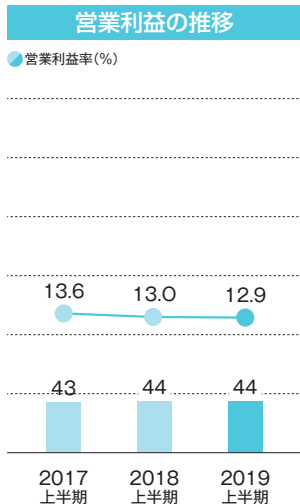
(単位:億円)

## 売上高の推移



(単位:億円)

## 営業利益の推移



● 医療事業は需要減少の影響を受けたものの、主力の検査事業が欧米・中国の販売が大幅に拡大するとともに、国内の販売も順調に推移したことなどにより、売上高、営業利益ともに前年同期並みを確保しました。

● 成長を加速させるための新製品投入が順調に推移しました。さらに、全社を事業・経営・研究開発・生産の4統括部にするにより、事業横断的な支援機能を強化しました。

※2019年度より、高機能プラスチックカンパニーの「メディカル事業」を、第4の事業セグメントとして記載しています。

# 連結財務データ

## 連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

	2019年度上半期末	2018年度末
流動資産	502,746	470,037
固定資産	557,257	553,669
資産合計	1,060,004	1,023,706

## 連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

	2019年度上半期	2018年度上半期
売上高	556,515	554,911
営業利益	41,497	42,165
経常利益	42,122	45,860
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,633	32,572

(単位:百万円)

	2019年度上半期末	2018年度末
流動負債	296,681	311,180
固定負債	126,360	79,779
負債合計	423,041	390,960
純資産合計	636,962	632,746
負債純資産合計	1,060,004	1,023,706

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

	2019年度上半期	2018年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,758	38,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	-18,252	-32,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,983	-14,573

(注)本中間報告書における金額、持株数、持株比率は、記載単位未満を切り捨てて表示しています。



# 株式の状況 (2019年9月30日現在)

## 発行株式数および株主数

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
1,187,540,000株	484,507,285株	21,246名

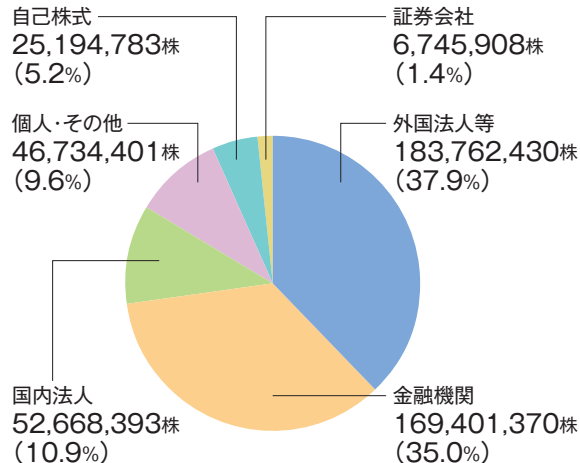
## 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	26,264	5.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,182	5.26
旭化成株式会社	21,039	4.58
第一生命保険株式会社	19,681	4.28
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	12,099	2.63
積水ハウス株式会社	10,998	2.39
積水化学グループ従業員持株会	9,225	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	8,436	1.83
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02	7,742	1.68
株式会社三菱UFJ銀行	7,618	1.65

(注) 1.当社は、自己株式を25,194,783株保有していますが、上記大株主からは除いています。

2.持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

## 株式の所有者別分布状況



## 会社概要 (2019年9月30日現在)

積水化学工業株式会社 (Sekisui Chemical Co., Ltd.)

創 立: 1947年(昭和22年)3月3日  
資 本 金: 1,000億237万5,657円  
本 社: 〒530-8565 大阪市北区西天満2丁目4番4号  
電話: 06-6365-4119(法務部総務グループ)

グループ従業員数: 26,791名

事業年度: 4月1日から翌年3月31日まで

## 株主メモ

### 株式に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

電話(通話料無料) **0120-094-777**

- 三菱UFJ信託銀行では、特別口座に記載された株式をお持ちの株主様のお手続きのみを取り扱うこととなりますので、ご注意ください。
- その他の株主様の各種お手続きは、口座を開設されているお取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。

## 積水化学グループ2020カレンダーのご案内

株主の皆様を対象に、積水化学グループ2020カレンダーを差しあげます。ご希望の方は、以下の要領にしたがってお申し込みください。

### ●お申し込み方法

同封いたしましたアンケートはがきに、必要事項をご記入のうえご返信ください。

### ●締め切り

2019年12月10日(火)到着分をもって締め切りとさせていただきます。

※お届けは12月下旬の予定です。

